

# 行政視察等報告書

令和2年12月25日

境港市議会  
議長 森岡 俊夫 様

会派名 無所属  
代表者 松本 熙

下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	令和2年11月6日（金）
2 視察等先 及び内容	「美保湾・島根半島をめぐるクルージングについて」 境港公共マリーナ～美保関港（ガイド乗船）～地蔵崎～ 黒島～美保の北浦までの、折返しコースを要所毎にガイドの説明 を受け、質問を交えて船上からの視察を行った。
3 視察等議員	松本 熙
4 総 経 費	合計（1名）10,000円（一人当たり10,000円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

## <内容・所感>

海洋視察として、境港公共マリーナから高速艇に乗船して、大山隠岐国立公園の島根半島先端部を美保の北浦周辺までの地質、洞窟、岩石、樹木、海洋ごみ等、半島の現状を船上から視察した。

元来、船が苦手な自分だが、高速艇に乗船して、島根半島先端部の地蔵埼を経て、美保の北浦辺りまでを折り返すコースなら船酔いもクリアでき、船酔いを心配する方でも十分楽しめる内容だと感じた。

天気にも恵まれ、高速艇の速さを実感しながら9分程で美保関港に着岸。ガイド役の方を乗せて、海洋視察が始まった。自分であらかじめ書いたメモを見ながら、早見ヶ鼻・軽尾港・ビシヤゴ島・雲津港・馬上り鼻・美保の北浦辺りまで、特に見所ではスピードを弛めて説明が行われ、大変興味深く聞くことができた。

3時間程の海洋視察であったが、見慣れた地上からの景色とは違い、船上からの景観は別の魅力を憶え、改めて素晴らしい自然環境がごく身近にある事を肌で感じた。

今回の視察では、地元の人にもまだまだ知られていない身近にある地域資源を掘り起こし、旅行商品としてどのように売り出していくかということが重要であると感じた。地元美保関町観光協会事務局長のガイドも巧みで、旅行商品としての可能性は多いにあると感じたところであり、今回の視察は大変有意義なものであった。

美保関は何度も訪れているが、この度のクルージングは別格であった。しかし、現実の生活に戻ると「コロナ禍」で様々な制約を受ける毎日である。

平井伸治県知事は著書「小さくても勝てる」の中で、トップセールスに走ったころの悔しい思い出を綴っておられるが、「負けてたまるか」という闘志が沸き上がってくるのも事実であった、とも述べている。

人口減少が進む中、「地方創生」で総花的な施策を繰り返しても事態は改善しないと感じている。自治体経営をしっかりと分析することが必要であり、本市においては、他所にはない三つの港を活かすことが必要であり、また、水木ロードの賑わいは境港市独自の良さが賑わい創出に繋がったと感じている。

今は現実として、新型コロナウイルス感染症を予防しながら生活をしていく状況下であり、就職活動に苦悩する人、新しいビジネススタイルを考える人、不幸にも命を絶つ人もいる。程度に差はあれ市民の中にも苛立ちに近い心境に追い込まれている方もいると思う。国、県の施策、行政や議会、そして個々それぞれに課せられた問題は少なくないと感じている。